

---

# 個性

ロースト

---

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

個性

### 【Nコード】

N3628M

### 【作者名】

ロースト

### 【あらすじ】

個性というものについて語って見ました。  
自作『定義』の方と似た雰囲気。  
内面・内省的。

## 個性

私は個性的と称されることがある。自身でも常々感じる点もあり甘受しているが、これは個性的ではないとの証明ではないだろうか。

個性とは無意識であつてこそ成立するものだ。意識することは没個性へと変身させることとなる。というのは、人間というものは本来的に依存性を持つ生物であるからだ。特に日本が典型的なのだが、依存とは他人との協調性・コミュニケーションという好印象の名へと姿を変えて社会に蔓延・基盤として人々の生活に馴染む。その悪点の影響にイジメなどの差別がある。これは、依存に基づいた、集団意識・集合意思・団体行動といったものを形成する、主に学校教育に始まる。個性とは突き詰めれば他者との「違い」である。それは依存に基づいた人間社会の要求である「同一性」と対立するものであり、淘汰対象・差別的となるものである。異質や理解できないものに似通い、人は個性を嫌い、疎み、過剰対処として排除を強行する場合もある。それがイジメであり差別だ。また、この意思是集団で働き、集合体として行動するから、人は孤立する。人間は脆い。だから、孤立を恐れ、依存本能が動き、原因である個性を抑制しようとする。人は常に強くあることはできないのだ。だから個性を潰してまでも集団へ混じろうとする。だからこそ、個性というのは無意識下で表現されるものなのだ。

個性尊重の時代である現在でも、割らずに存在し、「共生」という名の統一を志す。だが、統一として個性を抑制し続けることは無理な話だ。個々として、存在が異なるのだから、皆を平らにすることは出来ない。感知できないほどに小さいとしても、多少なりとも道にも凸凹が存在する。それを潔癖なまでに潰そうとしていたのは戦時中だった。そこは軍登用に個性は必要ないとしながらも、平等性は皆無とされた矛盾の時代だった。相も変わらず、人格形成時期を

過ごす学校を筆頭として集団の形成と没個性の育み、突出の修正と既形への当てはめがなされている。また、己の出すことの出来ない身の内の個性への執着がイジメとなって行動に表される。

現在、続いてきたその意識は少しずつ変わろうとしている。認可される個性というのは、許容範囲内にあるものだけであり、それは突出とはいえない。ただの「優れた」能力でしかなく、または抑制してきた個性の本の一部を見の振りよく表現したからだ。だが、それというのはどنگりの背比べのように代わり映えのない、拮抗時の勝者に当たる。模索すべきは上手い表現の仕方である。突出と平凡の不明確な線引きの上を行ったりきたりすることで社会に適応していかなければならない。だが、メディア社会は伝播しやすい。一人が変われば周囲に影響が出て、波状に広まっていく。少しずつ、だが確実に世界は個性を受け入れていく。遠からず、個性は誰もが表現することが出来るようになり、無意識下に限定されることもなくなるだろう。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3628m/>

---

個性

2010年10月11日02時57分発行